

月刊テキストマイニングレポート  
総集編 第2集

続

ツイッターにおける  
女性差別についての  
考察

著

後藤和智（後藤和智事務所 OffLine）

発行

2019年12月30日

（コミックマーケット97）

収録作品

（すべて書き下ろし）

- 『フェミニズムへの憎悪を生み出す構造——リツイート分析による「表現規制反対派」の布置』
- 『「負の性欲」とは何か、誰が言っているのか：続・ツイッターにおける女性差別に関する一考察 1』
- 『「ツイフェミ」とは誰か：続・ツイッターにおける女性差別に関する一考察 2』
- 『フェミニズムへの憎悪を扇動する「オタク政治家」』

# まえがき

---

85冊目の同人誌となります、後藤和智です。2019年の夏コミで出した『月刊テキストマイニングレポート総集編 ツイッターにおける女性差別に関する考察』は、結構な反響をいただきました。反響のきっかけとなったのは、ある同人誌のデザイン教本を書いているサークルが、同書のもととなったコピー本『「嘘松」認定』の研究』のデザインをレビューしてくださったことですが、それでもリツイートなどで「気になる」と述べてくれた方が多くおり、同書のnoteで公開していた部分も結構な数を購入してくださいました。

同書の発行後、女性に関する表象をめぐる議論で、それを問題視する側と擁護する側がまったく認識がかみ合わない、というのを見てきました。特に擁護する側は、女性やフェミニズムに対する憎悪を強くたぎらせており、そのため批判する側が何を言っているのかも理解しないまま噴き上がっているというのが多いという印象があります。

さらに言うと、そういった論客を生み出したのは、少なくない部分で私の責任があります。私は、2000年代から2010年代にかけて、若者論やオタクバッシングを批判してきましたが、その言説に影響を受けたと思われる人たち——現にいまフェミニズム叩きを行っている人たちは私のフォロワーであったことも少なくありません——がそういったバッシングの中にいるということをよく見かけるからです。特にツイッターでは、「ああ、この人も俺のフォロワー（だった）か」と思うこともあります。

前回に引き続き、ツイッター分析を通じて、ネット上、そして我が国の社会における女性差別の構造を明らかにしたいと考えております。

なお、本書の執筆中に、ジャーナリストの伊藤詩織が、性被害を受けた元TBS記者の山口敬之を相手取って慰謝料を請求した民事裁判で、伊藤が勝訴し山口に対して330万円の慰謝料などを支払うことを命じた判決が出ました。（中村かさね「伊藤詩織さん、中傷やセカンドレイプに「法的措置をとる」」ハフポスト2019年12月19日配信記事 [https://www.huffingtonpost.jp/entry/story\\_jp\\_5dfb0d3de4b0eb2264d41b9d?ncid=other\\_twitter\\_coo09wqtham&utm\\_campaign=share\\_twitter](https://www.huffingtonpost.jp/entry/story_jp_5dfb0d3de4b0eb2264d41b9d?ncid=other_twitter_coo09wqtham&utm_campaign=share_twitter)）。この事件は、証拠なども十分揃っているにもかかわらず山口が警察の上部の判断で逮捕されなかったこと、さらに山口が『暗闘』などの安倍晋三首相を絶賛する著作の著者であることなどが問題視されていましたが、その他にも伊藤に対しては現政権の立場に近い論客から多数の誹謗中傷を受けたというもあります。

例えば保守系メディアでよく見られるイラストレーターのはすみとしこは、明らかに伊藤とみられる女性を描いて「枕営業大失敗」とキャプションを付けたり、あるいはこれも現政権に近い論客である小川榮太郎などからセカンドレイプとも言えるバッシングを受けたことがあり、これらについても伊藤は法的措置をとる、ということ述べております。

私が「現代ビジネス」の寄稿「『稲田朋美』とは何だったのか？もてはやされた「保守政治家」の凋落」（2017年9月22日配信記事 <https://gendai.ismedia.jp/articles/-/52947>）で述べたとおり、現首相は産経新聞社が出しているオピニオン誌である『正論』の常連で、また防衛省の日報問題で辞任した稲田朋美も元は『正論』などで活躍した論客であり、その他『WiLL』

## 続・ツイッターにおける女性差別についての考察 月刊テキストマイニングレポート総集編第2集

などの右派系メディアでも首相や閣僚が出てくるようになっていきます。このような「上からの扇動」と言えるものは、例えば2004年に、イラクで人質になった3人の活動家らに対する「自己責任」の扇動にも見られます。プチ鹿島は、この「自己責任論」が、当時環境相だった小池百合子・現東京都知事が使い始めたものであることを明らかにしています（プチ鹿島「14年前、誰が「自己責任論」を言い始めたのか？」文春オンライン2018年11月2日配信記事 <https://bunshun.jp/articles/-/9514>）。フェミニズムについても、地方議員レベルではありますが、憎悪を煽っている政治家がおり、さらにその政治家は「オタク議員」を自称しています。本書ではその議員についても採り上げます。

なお、本書は、「月刊テキストマイニングレポート総集編」称してはおりますが、全編が書き下ろしです。というのも、毎回テーマを定めてテキストマイニングレポートを書こうとしているのですが、最近ではツイッター分析でなかなかうまくいかず、挫折する回が多かったのです（他の事情もありますが）。今回は、改めて分析してみて結果の一端をデータとして示してみたいと思います。今回で、月刊テキストマイニングレポートの第27,29,31,32回を消化します。なおそれでもまだ多くの回が未消化のまま残っているよう……。

※本書の分析には、フリーのテキストマイニングソフト「KH Coder」を使用しております。KH Coderについては、樋口耕一『社会調査のための計量テキスト分析』（ナカニシヤ出版、2014年）をご参照ください。また、ツイッターの分析は、リツイート分析を除いて、2019年12月10日現在で最新の「neologd」を形態素解析エンジンとして使用しております。

# 目 次

まえがき .....	2
第1章 フェミニズムへの憎悪を生み出す構造 ——リツイート分析による「表現規制反対派」の布置 月刊テキストマイニングレポート Vol.27 .....	5
1.1 はじめに——分析の概要	5
1.2 多次元尺度構成法による論客のカテゴリ分け	7
1.3 「表現規制反対派」のアカウントをリツイートしている人はこのアカウントも リツイートしています	10
1.4 結論	10
第2章 「負の性欲」とは何か、誰が言っているのか 続・ツイッターにおける女性差別に関する一考察 1 月刊テキストマイニングレポート Vol.31 .....	14
2.1 はじめに	14
2.2 「負の性欲」ツイートの取得と集計	16
2.3 誰が「負の性欲」を語るのか	17
2.4 おわりに	20
第3章 「ツイフェミ」とは誰か 続・ツイッターにおける女性差別に関する一考察 2 月刊テキストマイニングレポート Vol.29 .....	21
3.1 はじめに	21
3.2 ツイートの取得	21
3.3 「ツイフェミ」概念を振りかざしているのは誰か	24
3.4 おわりに	25
第4章 フェミニズムへの憎悪を扇動する 「オタク政治家」——荻野稔研究 続・ツイッターにおける女性差別に関する一考察 3 月刊テキストマイニングレポート Vol.32 .....	28
4.1 はじめに	28
4.2 荻野に反応するアカウントの特徴を検討する	30
4.3 おわりに	31

# 第1章 フェミニズムへの憎悪を生み出す構造—— リツイート分析による「表現規制反対派」 の布置

## 月刊テキストマイニングレポート Vol.27

---

### 1.1 はじめに——分析の概要

本章では、リツイート分析を用いて、「表現規制反対派」と呼ばれる論客の立ち位置について考察することとする。

まず、リツイート分析について説明したい。本書で言うリツイート分析とは、筆者が『Twitter Analysis Maniax——twitteR, Excel VBA, KH Coder による最強(?)のツイッター分析』(コミックマーケット86)で提唱している手法であり、詳細については同書に譲るが、特定のアカウントにおけるリツイートの状況を通じて、近い立場の論客を布置するというものである。

リツイート分析においては、フリーの統計解析ソフト「R」のパッケージである「twitteR」(twitteRについては、石田基広『Rによるテキストマイニング入門 第2版』(森北出版、2017年)を参照されたい)を使って、下記のコマンドを用いてツイートを取得して行く。

```
data01 <- searchTwitter(searchString="@スクリーンネーム", n=取得数量, since=開始時期, until=終了時期)
data01 <- twListToDF(data01)
dat <- data01
```

そして、得られたツイートの内、「RT @スクリーンネーム:」で始まるものを、当該アカウントのリツイートとするものである。また、ツイートを取得する時間の短縮のため、n=8000とし、8000件で打ち切るものとした。そのため、リプライが多いアカウントについては、基本的にリツイートが少なくカウントされてしまう可能性もあることを承知されたい。

本書で分析の対象とする「表現規制反対派」とは、アニメやゲームに対する「表現規制」に反対する論客のことを指す。ただし、この系統の論客においては、国家における検閲や統制——例えば、2019年に開催された「あいちトリエンナーレ」における、戦時性暴力や日本の戦争加害をモチーフにした作品の展示に対する名古屋市の介入など——よりも、フェミニズムやアンチレイシズムの立場に立つ論客による批判(法規制を求めるものではないものを含む)を指すものと見られる。例えば、この「表現規制反対派」の代表的な論客のひとりである、大田区議の荻野稔のツイートを引用してみる。

今、誰もが子供達を守りたいと考えている。ならば自分の欲求を果たす為だけに、無関

系の創作物をお気持ちで焼いて良い訳がない。

現にツイフェミと呼ばれる方々はこのような時にも戦闘を仕掛けてくる。彼らはかつての女性解放運動から膨れ上がり、逆らう者は全てを悪と称しているが、それこそ悪であり

[https://twitter.com/ogino\\_otaku/status/1200443635843518464](https://twitter.com/ogino_otaku/status/1200443635843518464)

人類は衰退しました！と言い切れる。

TLを御覧の方々はお分かりになる筈だ。

これが彼等のやり方なのです。我々の趣味嗜好が番人受けしないのも悪いのです。

しかし、ツイフェミと呼ばれる方々はこの日本では被害者の居ない創作物は合法であるにも関わらず、児童ポルノと混同し破壊しようとしている。

[https://twitter.com/ogino\\_otaku/status/1200444778678112256](https://twitter.com/ogino_otaku/status/1200444778678112256)

諸外国の政府の高官たちは創作物を汚染して、人類にとっての宝を破壊している！

もはや日陰でやり過ごすのは無理と判断して行動を始めた。

表現規制反対派はそのための尖兵に過ぎず、この日本に亡命したかのように表現を求めてくる皆さんの力も借りて、創作表現全体を守っていかねばならないのです！

[https://twitter.com/ogino\\_otaku/status/1200446971783217153](https://twitter.com/ogino_otaku/status/1200446971783217153)

荻野は、例えばフェミニストやそれに親和的な論客——私含む——の批判を《自分の欲求を果たす為だけに、無関係の創作物をお気持ちで焼く》というようなものとしているが、その内容を差し措くとしても、フェミニストなどによる批判の内容を見ずにここまで敵視してしまえる様はまさに扇動者と言える。そもそも《被害者の居ない創作物は合法であるにも関わらず》とあるが、表現をめぐる議論は「合法であるかどうか」に限ったものではなく、また政治家としても創作者としても（荻野は同人サークルの主宰でもある）その批判に対して謙虚であることをこのような過剰な敵視で逃けているようにしか見えない。

さらには、こういったフェミニズムなどを敵視する「表現規制反対派」は、彼らが「お気持ち」と呼ぶものの法規制すら許容する発言をすることもある。漫画家の山本貴嗣は（[https://twitter.com/atsuji\\_yamamoto/status/1191344677292691456](https://twitter.com/atsuji_yamamoto/status/1191344677292691456)）、

「傷ついた私」は無限に何かを要求できる打ち出の小づちで水戸黄門の印籠だと思ってる「お気持ち真理教」はやく絶滅してほしい。もっともナントカ過激派といっしょで特定の指導者が減びても似

表1-1 抽出アカウント数

リツイート数	全体	2000水準	5000水準	10000水準
3~5	40,170	996	2,491	4,981
6~10	18,938	470	1,174	2,349
11~15	7,429	184	461	921
16~20	4,041	100	250	501
21~25	2,478	62	154	307
26~30	1,664	41	103	206
31以上	5,922	147	367	735
合計	80,642	2,000	5,000	10,000

# 続・ツイッターにおける女性差別についての考察 月刊テキストマイニングレポート総集編第2集

たような他人が引きついで  
で存続するからたぶん減  
びない。なんらかの法規  
制が望まれる。

と、正面から法規制を求め  
る発言をしている。

これらの「表現規制反対派」  
について、先に述べたり  
ツイートを取得する方法で、  
統計的手法を用いて論客を布  
置してみたい。

## 1.2 多次元尺度構成 法による論客の カテゴリー分け

本章では、彼ら「表現規制  
反対派」のほか、政権批判、  
フェミニズム、反政権批判な  
どの 500 程度のアカウントを  
対象にリツイートの取得を行  
い、アカウントごとに集計し  
て、多次元尺度構成法を用い  
て布置を行った。ツイート  
の取得は 2019 年 11 月 29 日  
に行い、期間は国際標準時  
で 11 月 22 日から 27 日とし  
た。集計対象としたアカウン  
トは、取得対象のアカウン

表1-1 主な表現規制反対派系論客の集計数

観測期間：国際標準時2019年11月22日～27日に「@（アカウント名）」で検索し8,000件を上限に取得  
そのうち「RT @（アカウント名）」で始まっているものをリツイートとした。

集計対象：期間内に対象アカウントを計3回以上リツイート

全体の観測アカウント数：80,642

名称	アカウント	度数	2000水準	5000水準	10000水準
アイイ模型	@aoi_mokei	6,945	134	478	898
ぬまきち	@obenkyounuma	6,400	207	525	920
トイレスタンパ香りジェル	@Conscript1942	6,030	161	361	689
伊藤剛	@GoITo	5,946	189	406	743
koshian	@koshian	5,804	150	416	762
荻野総	@ogino_otaku	5,801	160	393	792
くお	@guo_same	5,742	161	413	716
高村武義	@tk_takamura	5,248	136	330	634
スルメロック	@surumelock	4,867	122	298	569
胡田寺圭	@terrakei07	4,794	172	375	663
山口貴士	@otakulawyer	4,554	94	260	527
Calci	@Calcijp	4,317	159	363	586
青楓垂論	@dokuninjin_blue	4,175	125	293	531
炬雄どらごん	@okotatsudoragon	4,143	99	283	531
KatanaEdge	@amiga2500	3,886	91	264	549
惜金王	@syakkin_dama	3,535	138	247	460
鐘の音	@kanenooto7248	3,382	100	237	436
山田太郎	@yamadataro43	3,345	78	203	408
24-589	@24_589	2,913	75	181	363
赤松健	@KenAkamatsu	2,889	79	176	347
ねんまつたろう	@KITASANI231	2,505	65	148	289
多摩湖	@tamako_han	2,472	74	181	365
三崎尚人	@missaki	2,182	90	178	307
こなたま	@MyoyoShinryo	2,170	70	160	276
rei	@rei10830349	2,152	54	161	311
飯新安屯子	@Suzuranantoko	2,019	41	125	270
すくすく	@ScreamoTAI	1,901	55	124	241
きゃしゃん	@chesyan	974	26	65	117
鳳明日香	@phenixsaber	738	21	43	73
原田実	@gishigaku	660	20	59	94
えらいてんちよう	@eraitencho	613	18	34	64
松山せいじ	@seijimatsuyama	546	16	43	90
松浦大悟	@GOGOdai5	451	18	44	68
丹治吉順	@tanji_y	444	5	17	31
荻野幸太郎	@ogi_fuji_npo	440	22	42	87
各務原夕	@nekooguruma	433	6	28	43
濟州通みかん	@99mima_jeju	424	8	32	60
永山薫	@Kaworu911	371	14	31	60
鈴折	@sin_Lv98	323	3	24	40
吾良青麩	@redcrab_library	316	8	13	45
AQN	@aqn_	184	3	22	23
高橋しょうご	@Shogo_thks	177	1	5	9
鳥山仁	@toriayamazine	171	1	4	12
れなぞ	@magicalitina	106	6	6	7
稀見理都	@kimirito	100	2	9	18
村松謙	@kumuramatsu	93	5	6	14
山本夜羽音	@johanne_DOXA	86	2	2	7
森奈津子	@MORI_Natsuko	78	3	5	14
サイレントトラベラー	@silpient	57	2	4	6
兵頭新児	@hyodoshinji	41	0	0	4
黒屋ぶるー	@kuroya_blue	29	1	3	3
清次郎	@kiyojirou	22	2	2	2

を合計3回以上リツイートしたもので、全体で80,642のアカウントが対象となった。そこから、各アカウントに乱数を振り、リツイートの度数分布に基づいて上位から分布が母集団とほぼ等しくなる数のアカウントについて分析を行った（そのため、この抽出は、母集団の特徴に基づく系統抽出であることに注意されたい）。ここからアカウント名を形態素解析エンジン「MeCab」の辞書として登録し、KH Coder を用いて多次元尺度構成法を行った。

表1-2は「表現規制反対派」系統の論客における観測数を示したが、表1-3における2000水準、5000水準、10000水準における論客のカテゴリー分けを見ると、これらの表現規制反対派の論

客は、2000水準ではカテゴリー1、5000水準ではカテゴリー5、10000水準ではカテゴリー1のような、政権に近い立場にある右派系の論客ではないが、ツイッター上で有名な左派批判系のアカウントと近いところに布置されていることがわかった。カテゴリー分けのほか、多次元尺度構成法を用いた図上でのプロットでも、右派系の論客の近くに配置される結果となった。反対に、例えば筆者（後藤和智）のように、一部の「表現規制反対派」の論客（今回も集計の対象としている）から「コミケ破壊勢力」と名指しされている論客は、フェミニズム系の論客の近くに布置されている。

図上でもう一つ着目したいのは、所謂「バクリbot」と呼ばれるアカウントとの親和性である。「バクリ」という強い表現を使ったが、ここで言う「バクリbot」とは、ネット上で拾ったのか、おもしろそうな動画をツイートして、多数のリツイートや「いいね」を得るアカウントのことである。このようなアカウントは、ツイートに悪質商法の宣伝などを潜り込ませることもあるが、ただ単純に「おもしろい動画を紹介しているだけ」というものも多い。ネットメディアにおいても、例えば野党政治家などへの中傷で問題視されている「netgeek」のアカウント「netgeek 動物」などが、引用元を示さない無断転載で問題視している人も多い。

今回の分析においては、「平成を忘れないbot」「令和を盛り上げるbot」「最多情報局」などを対象としているが、2000水準では右上、5000水準では左上、10000水準では下に布置されている。そのため、この方向のことを「バズリ」との親和性という方向軸として考えると、左派系やフェミニズム系の論客よりも、右派系の論客、そして「表現規制反対派」のほうが、こ

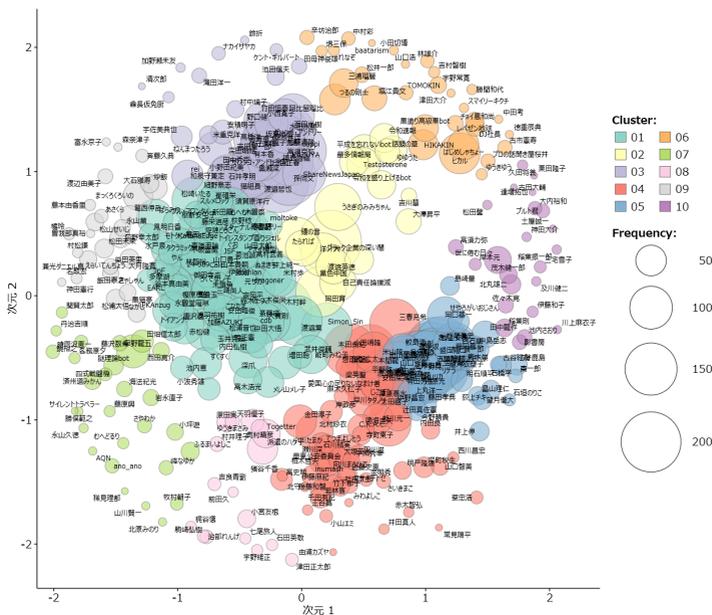


図 1.1 2,000 水準での観測対象アカウントの多次元尺度構成法による布置

続・ツイッターにおける女性差別についての考察  
月刊テキストマイニングレポート総集編第2集

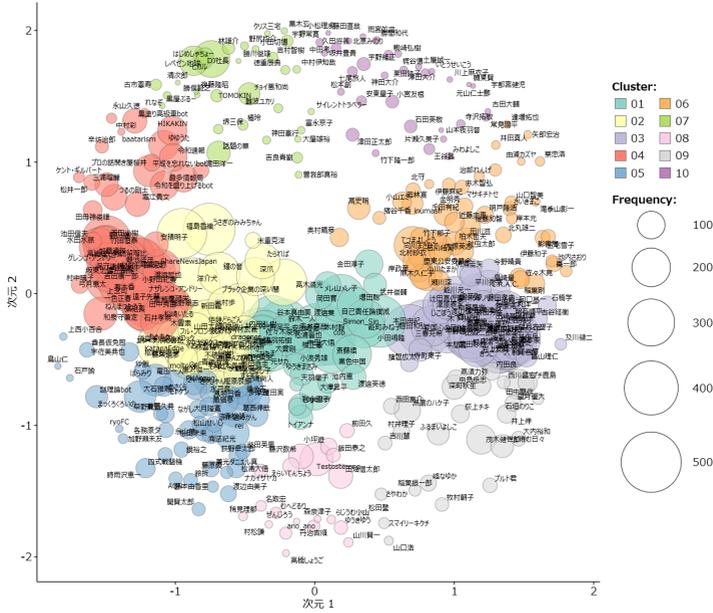


図 1.2 5,000 水準での観測対象アカウントの多次元尺度構成法による布置

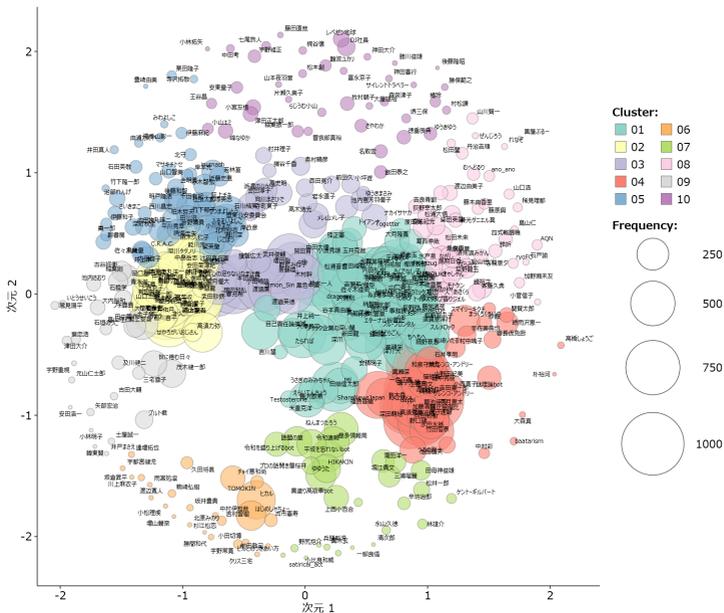


図 1.2 10,000 水準での観測対象アカウントの多次元尺度構成法による布置

ちらの側に位置している傾向が見受けられる。そのため、ツイッターにおける右派系の議論と、「表現規制反対派」の議論は、ネット上における「ネタ」として消費されているという傾向も見受けられる。ただし、「表現規制反対派」の議論に関しては、10000水準においては、左派系のアカウントとこの指向についてはそこまで大きな差になっているというわけでもない。

以上より、アカウントのリツイートの傾向から、「表現規制反対派」と右派系の論客や議論の親和性、そして「パクリ bot」による「バズり」との親和性がある程度見受けられる結果となった。右派系の議論、及び「表現規制反対派」の議論は、少なくともツイッター上においては、ある種のコンテンツとして「バズり」系の動画と並行して消費されるという傾向が見受けられる。

### 1.3 「表現規制反対派」のアカウントをリツイートしている人はこのアカウントもリツイートしています

表1-4では、KH Coderの関連語検索機能を使用して、Jaccard係数（2つの集合の共通性を示す指標）を用いて、「表現規制反対派」のアカウントと一緒にどのアカウントがリツイートされているかを示している。ここでは、表1-2に上げたアカウントのうち上位20アカウントについて示したが、多くのアカウントにおいて、「表現規制反対派」系のアカウントと一緒にリツイートされているという傾向が見られた。ほかにも、スルメロックについては、同じ人権運動などを嘲笑する漫画を投稿している洋介犬や、有名は左派嘲笑アカウントである「もへもへ」、御田寺圭や山口貴士は林智裕やタクラミックスといった反放射能デマから左派批判に移行したアカウント、鐘の音については労働問題系のアカウントも見られている。

なお、公平を期するために、筆者（後藤和智：2000水準での観測数28、全体での観測数804）と共に高いアカウントも示す。

1: マサキチトセ 2: 北守 3: 柏木哲夫 4: 瀬川深 5: inumash 6: 猪谷千香 7: 小川たまか  
8: 向川まさひで 9: 竹下郁子 10: 高木浩光 11: 石川結実 12: 墨東公安委員会 13: 伊藤麻紀  
14: 鳴海圭矢 15: 明戸隆浩 16: てつまよしとう 17: 山口智美 18: 若林宣 19: 平川秀幸  
20: 能川元一

### 1.4 結論

本章の分析から、下記の2件について知見が得られた。第一に、「表現規制反対派」の議論は左派や政党批判などよりも右派系の議論と親和性が高いこと。第二に、右派系の議論は、「平成を忘れない bot」「令和を盛り上げる bot」などといった「バズり」目的のパクリ botと消費の傾向において左派よりも親和的であるということ（ただし「表現規制反対派」については左派とあまり変わらないという分析結果も現れている。

リツイートに関しては、「リツイートは必ずしも議論への同意を示すものではない」という言い訳がなされることがある。リツイートの直後に批判的なツイートをしているのであればそのような物言いも正当化されるが、ただ、リツイートについてはツイートを「拡散した」責任

